

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2004/09/11 Vol. 37 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

印西市議会平成 16 年第 3 回定例会が開催されます。

今回の定例会は9月8日(水曜日)から9月24日(金曜日)まで行われます。

(今回の定例会の付議案件については、平成 15 年度印西市一般会計歳入歳出決算認定等の決算認定が6件、条例の改正が2件(特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正他)、補正予算の審議が3件、人事案件が2件 他がございます。)

「ぐんじとしのり」は、9月9日(木曜日)午前10時頃から、会派「市民自治ネットワーク」を代表し、90分間の代表質問に立ちます。(今回は、「市民主導の市政について」「資源循環型拠点施設について」「北総鉄道の高運賃への対応について」「牧の原駅圏の開発」の4点を質問テーマとします。)(その内容は抜粋して後述します。)お時間があるかたは、是非とも傍聴にお越しください。

傍聴を希望される方は、印西市役所5階にて諸手続きを行い、傍聴券の交付を受け、傍聴を行うこととなります。尚、定員は36名です。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり 9月定例会 代表質問内容

以下の内容を議会事務局に既に提出し、今回の議会で質問に立ちます。

1. 市民主導の市政について

山崎市長は選挙公約で「市民主導の市政」を提唱され、市長の席に就かれたわけであるが、公約実現の為に具体的にどのような方針で市政を運営していくのであろうか。

(1) システムづくりについて

「市民自らが地域で積極的に自主的に解決できるシステムを創ります」との公約を掲げていたが、現在、検討が進む「市民参加条例」ではどのように配慮されているのか。

(2) 市民力について

市民の中にいる、様々な分野で、活躍する専門家をどのように市政に参画させて行くのか。また、市長の言う市民力は、今後、具体的にどのような施策のどこに、どのような形で反映していくのか。

(3) 合併問題について

「市民の声」でと考えを示したが、合併が白紙に戻った現在、今後についてはどのように市民の声を反映していくのか。

- () 情報提供について どのように考えるか
- () 市民投票条例について どのように考えるか

2. 国道464号線沿いの「資源循環型拠点施設」について

隣接地に予定されていたJAが進出を見合わせたとの話を聞いた。当初の予定では当該取得用地は、本年度基本調査、測量をするとのことであったが、現在までの状況および今後について問う。

3. 北総鉄道の高運賃への対応について

山崎市政での重要課題であり、選挙公約でもあります。現状と今後を伺います。

- (1) 公約に掲げた通学定期券への「一般財源の出勤による育英補助金の適応」について。
- (2) 京成グループへの働きかけはどのように行っていくのか。
- (3) 国、県の責任に関してはどのように考えて行動して行くのか。

4.印西牧の原駅圏の開発について (抜粋記載させていただきます。)

市長公約で「急ピッチで取り戻します。」との表現があったが、住民の声はどのように反映されるのであろうか。(1)交通安全対策について 他2項目

平成 16 年第 2 回印西市議会臨時会報告

平成 16 年 8 月 25 日(水曜日)に臨時会が開催され、以下の議案が審議されました。

*** 印西市・白井市・印旛村・本埜村 合併協議会の廃止について**

<結果/可決 - 全員賛成>

今回の議案が可決した事により、平成 16 年 8 月 31 日限りで、2 市 2 村で構成されてきた法定合併協議会は正式に解散されました。

<ぐんじとしのりより 市民の皆様へ>

- * 以下、私が議案審議の最後に当たって「賛成討論」として発言したものの抜粋です。
「合併は地域のことを考えるのに必要なことですが、もっと大事なことがあるのではないか？」
ということを皆様にお伝えし、今後も考えていきたいと思ひます。

今回の合併協議を通じ、多くのことを感じましたが、「自治の本質」については充分議論してきただろうか？ということを考えて欲しいと思ひます。また、行財政改革についてはいかがでしょうか？

今は夢に終わった「北総市」という名前のもとに、規模を拡大すれば自治体の運営の効率性が得られ、専門性が高まるという何の根拠もない、極めて安直な判断は幻想以外のないものでもなかったのではありませんか。例えば、職員は合併すれば資質は変わるのか？ 合併すれば、行財政改革は進むのか？ とりあえず、合併しようという、結果を運に任せたものではなかったかと思ひます。

市民が生き生きした暮らしを実現する為には何が必要か？

私はごみや環境、福祉など自分の地域の身近な問題について見識をもった市民が育つ事が必要だと思ひます。

「自治とは本来どうあるべきか？」

合併という道の選択を行うのであれば、その前に私はそもそもあるべき自治の姿について充分な議論を尽くすべきではないかと考えます。

また、行財政改革についても合併に関わらず、考えなくてはならないことは山積みのはずです。合併協議をしているのだから先送りにするのではなく、同時に並行して進められるべきものです。合併協議会の解散が議決されようとする今、行財政改革はどのようにすすんでいるのでしょうか。

1年と半年、短い時間の中ではありましたが法定協議会を開催し、地域全体の事を少しでも考え、事務事業の洗い出しができたということでは評価したいと思ひます。

しかし、その分企業でいえば経営資源というべき、人、もの、金、時間を多大に使ったことは忘れてはならないと思ひます。今回の協議が明日のいんざいを語る上で有用であったことを信じて、そして最後に協議会委員であった方々、関係各位に感謝御礼をし、法定協議会解散に対して賛成としたいと思ひます。ありがとうございました。

(紙面の関係で掲載できませんが、今回の議案に対して、私が印西市に対して行った質問、および討論の全文は、「印西市議会会議録」に掲載されます。~この会議録は 11 月中旬頃までに市内 4 図書館他に配置されます。全部で 30 ページ程度になると思ひます。お時間があるかたはご覧下さい。)

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

ぐんじとしのり